資料１

『北海道クロニクル』上巻 章立て案

１　仕様案

前提：上巻全体 400 頁 A5 判 白黒

前半（～15 世紀：序～Ⅴ）

後半（16 世紀～明治維新：Ⅵ～Ⅹ）

現在の章数（序を含む）：11

現在の節数（序を 2 節とする）：42／現在のコラム数：44

→前半：序＋５章（21 節＋コラム 23）

→後半：５章（21 節＋コラム 21）

◎単純計算：1 節８頁＋コラム 1 頁＝380 頁

：1 節８頁＋コラム 2 頁＝424 頁

☆1 頁 52 字×19 行＝988 字（max）

２　章立て案

（刊行のことば／目次／口絵等）

・序 上巻の記述方針 【蓑島・谷本（担当者案／順不同、以下同）**】**

第1節 基本叙述姿勢の提示

第2節 研究のあゆみ（前近代北海道史）

コラム1　時代区分の諸問題

・Ⅰ 北海道島の地質・環境と人びと―人類の到達と、暮らしの背景
―約30000年前～約15000年前 【中田・越田：監修】

第1節 北海道島のなりたち 【調整中】

第2節 北海道島の環境 【調整中】

コラム2 環境・気候変動と北海道島の前近代史 **【調整中】**

コラム3 理化学的研究と北海道島の前近代史 **【調整中】**

第3節 旧石器時代の人びと―北海道島とその周辺 【調整中】

コラム4 自然人類学研究の最新動向 **【調整中】**

コラム5 国宝・白滝遺跡群と黒曜石 **【調整中】**

・Ⅱ 定住生活のはじまりと開花する文化―約15000年前～約2400年前
【越田・中田】

第1節 縄文時代の人びと1 草創期～早期 【越田・中田・調整中】

コラム6 「北海道島史」の地域性（大型コラム）**【越田】**

コラム7 海上の道（大型コラム）**【越田】**

資料１

第2節 縄文時代の人びと2 前期～中期 【越田・中田】
コラム8 世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」【調整中】
コラム9 縄文文化と新石器文化（定義、学史、周辺地域との関係）【調整中】
第3節 縄文時代の人びと3　後期～晩期 【越田・中田】
コラム10 国宝・函館市著保内野遺跡の土偶　【調整中】
コラム11 ジェンダーとひとの一生1―縄文時代（大型コラム）【越田・中田】

・Ⅲ 北海道島の人びとの文化の「独自化」
―約2400年前～5・6世紀【中田・越田・蓑島】
第1節 続縄文時代前半期の人びと 【中田・越田】
第2節 続縄文時代後半期の人びと 【中田・越田】
コラム12 本州北部の続縄文系文化 【中田・越田】
第3節 オホーツク文化の形成 【中田・越田】

・Ⅳ 北海道島の人びとと北東アジア・倭・日本―7～12世紀 【中田・越田・蓑島】
第1節 オホーツク文化の展開（刻文、沈線文、貼付文） 【中田・越田・蓑島】
第2節 擦文文化の成立と展開 【中田・越田・蓑島】
第3節 オホーツク文化・擦文文化のゆくえと暮らしの変容 【中田・越田・蓑島】
コラム13 枝幸町目梨泊遺跡と恵庭市西島松5遺跡 【中田・越田】
コラム14 擦文期の木製品【中田・越田】
コラム15 道東北の竪穴群の意味　海洋への進出　【中田・越田】
コラム16 ジェンダーとひとの一生2―擦文とオホーツク　【中田・越田】
第4節　東アジアの古代国家と北海道島 【蓑島・越田・中田】
コラム17 東北アイヌ語地名の世界 【蓑島・越田・中田】
コラム18 古代「えみし」とその背景　【蓑島・越田・中田】
コラム19 交易の諸相―北の生きものと「宝」 【蓑島・越田・中田】

・Ⅴ 北海道島の人びとと北東アジア・日本―13～15世紀 【蓑島・越田・中田】
第1節 土器製作の終焉と新しい文化 【越田・中田】
コラム20 厚真町の遺跡群【調整中】
第2節　津軽安藤氏（安東氏）の盛衰と「夷島」 【蓑島・越田・中田】
コラム21 中世日本の「えぞ」イメージ 【蓑島・越田・中田】
第3節　元・明とアイヌ民族（樺太アイヌと千島アイヌ含む）【蓑島・越田・中田】
第4節 「道南十二館」の時代とコシャマインの戦い 【蓑島・越田・中田】
コラム22 宗教儀礼の系譜　【越田・中田・蓑島】
コラム23 発掘された館　【越田・中田】

資料１

・Ⅵ　列島北方域と北東アジア・日本：16～17 世紀　【＊谷本】

第1節　「近世」の「蝦夷島」とその周辺（谷本）

　コラム 24：勝山館遺跡の世界（川上）

第2節 カムイトクイと「国内静謐」（谷本）

　コラム 25：帆を下げる（川上）

第3節 松前藩の成立（松本）

　コラム 26：蠣崎慶広と秀吉・家康（松本）

　コラム 27：本州北縁のアイヌ社会（川上）

・Ⅶ シャクシャインの戦いと松前藩：17～18 世紀　【＊川上】

第1節 城下交易から商場交易へ（川上）

　コラム 28：ウイマムとオムシャの変遷（松本）

第2節 日本市場とのつながり（松本）

第3節 松前藩制の整備と城下の繁栄（松本）

　コラム 29：松前家の参勤交代（松本）

第4節 シャクシャインの戦いと戦後処理（川上）

　コラム 30：噴火・津波・疫病と人々（松本）

　~~コラム 31：遺跡からみるコタンとチャシ~~ **(→Ⅹ章)**

◎前半パートからの提案：後半のコラムとして、

・発掘されたコタン(二風谷、イルエカシ、ニタップナイほか、末広など千歳・恵庭も)

・発掘されたチャシ（ユオイ、ポロモイほか、ユクエピラ・トコロチャシ等道東の例も）

・発掘された木製品（美々8、ユカンボシC15等）

の3項目を立項させていただけないか、ご検討いただければ幸いです。

　コラム 31：イウォルの概念（谷本）

・Ⅷ クナシリ・メナシの戦いと幕府の直轄：19 世紀前半　【＊川上】

第1節 ロシアの南進と千島アイヌ（川上）

　コラム 32：チャシの終焉（川上）

　コラム 33：イコトイと近藤重蔵（川上）

第2節 クナシリ・メナシの戦いと戦後処理（川上）

　コラム 34：シサムとフレシサム（川上）

　~~コラム 35：アイヌ口承文芸と歴史像~~ **(→Ⅹ章)**

第3節 山丹交易の管理と樺太アイヌ（谷本）

　コラム 35：ヤエンコロアイヌ文書の世界（谷本）

第4節 蝦夷地幕領と「異国境」の認識（川上）

　コラム 36：アイヌ語と日露交渉（川上）

第5節 松前藩復領と場所請負制度の進展（松本）

資料１

コラム 37：狩猟と軽物（松本）
コラム 38：漆器と蝦夷細工（谷本）

・Ⅸ 開国から維新へ：19 世紀後半 【＊松本】
第1節 ペリー来航と箱館開港（谷本）
コラム 39：アイヌ改俗政策の意図と実際（谷本）
第2節 箱館奉行の蝦夷地経営（谷本）
コラム 40：ヨイチ場所とソウヤ場所（谷本）
コラム 41：松浦武四郎の蝦夷地踏査（調整中）
コラム 42：百物開工：幕末の殖産興業策（調整中）
~~コラム 43：「アイヌ絵」にみる社会像~~ **(→Ⅹ章)**
第3節 幕末政治史と松前・箱館・蝦夷地（松本）
コラム 43：老中松前崇広（調整中）
第4節 箱館戦争と榎本軍政（谷本）
コラム 44：松前城と五稜郭（調整中）

・Ⅹ 蝦夷地と和人地、人々の暮らし：16～19 世紀 【＊谷本】
第1節 アイヌと和人、弁別と呼称の歴史（川上）
第2節 出土資料・物質文化からみた「近世」（越田／中田）
第3節 アイヌ民族のヤウンモシリ／松前蝦夷地（谷本）
第4節 和人民衆の松前蝦夷地（谷本）
第5節 ジェンダーとひとの一生（松本）

＊索引（各巻or上下まとめて）
＊年表の取扱い
＊参考文献一覧